

■「細川」「県美」■

コレクション展

HOSOKAWA & PREFECTURAL MUSEUM OF ART COLLECTION EXHIBITION

スケジュール 〈第一期～第二期〉

	特別展	細川コレクション	県美コレクション
4月	北斎展 —世界が絶賛した浮世絵師— 3月30日～5月19日	細川コレクションⅠ 〈特集〉 大観と春草 4月2日～6月16日	県美コレクションⅠ 〈特集〉 新収蔵品 4月2日～6月16日
5月			
6月	収蔵庫燻蒸等による臨時休館 6月17日～7月1日		
7月	藤田嗣治渡仏100周年記念 レオナルド・フジタとパリ 1913-1931	細川コレクションⅡ 〈特集〉 工芸にみる日本の意匠 7月2日～9月23日	県美コレクションⅡ 〈特集〉 義尹と大智、肥後の禅宗 7月2日～9月23日
8月	～天才たちの熱き交流～ 7月2日～8月25日		
9月			

関連イベント

ミュージアムセミナー

展覧会の内容や当館の活動に関するくわしい話、美術や歴史についての裏話などを楽しくご紹介するセミナーです。事前申込みは不要で、どなたでも無料で参加できます。

4月20日(土)14:00～15:00

「美術館と収蔵—新収蔵品を中心に—」
講 師:当館主任学芸員 林田 龍太
会 場:本館講堂

学芸員による ギャラリートーク

会期中の毎月第二・第四日曜日の14時から、当館学芸員が展示作品について30分程度解説いたします。開始時間前に二階会場入口までお越しください。なお、ギャラリートークのご参加には観覧料が必要となりますので、ご注意ください。

4月14日(日)、4月28日(日)、
5月12日(日)、5月26日(日)、6月9日(日)
14:00～14:30

子ども美術館

展覧会の内容にあわせ、美術や歴史の理解につながる子ども向けのワークショップを開催します。事前申込み不要で、どなたでも無料で参加できます。ただし、展示室に入場される場合には、一般のお客様は観覧料が必要となりますのでご注意ください。

4月21日(日)10:30～12:00
「消しゴムはんこで浮世絵のヒミツを見つけよう」
6月16日(日)10:30～12:00
「自然の絵具で描いてみよう」

障がいのある方々の 鑑賞デー

障がいのある方々がゆっくりと鑑賞できるよう、通常休館日である日を臨時開館して開催するイベントです。午前、午後とそれぞれ一回ずつ、各展示室で手話通訳付きの展示解説を行います。皆様ふるってご参加下さい。

5月7日(火)

同時期開催

北斎展

—世界が絶賛した浮世絵師—

葛飾北斎の代表作「富嶽三十六景」をはじめ、役者絵、妖怪絵のほか、西洋の銅版画から影響を受けて生み出した洋風画などを通して、北斎芸術の全貌をご紹介します。



2013年3月30日(土)～5月19日(日)

本館1階展示室

主 催:TKUテレビ熊本、熊本県立美術館

入場料:一般 1,000円(800円)

高・大学生 800円(640円)

小・中学生 500円(400円)

()内は前売り及び20名以上の団体料金

未就学児は無料

障がい者手帳をお持ちの方無料

交通案内

- バス/交通センターから歩いて15分、または交通センターで熊本城周遊バス(通称:しろめぐりん)に乗り換え、「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分
- 市電/「熊本城・市役所前」または「花畑町」下車、歩いて15分
- JR/熊本駅から熊本城周遊バスで「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分上熊本駅からタクシーで10分
- 阿蘇くまもと空港/空港バスで交通センターへ、センターから歩いて15分または熊本城周遊バスに乗り換え「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分
- 駐車場/二の丸駐車場(有料)三の丸駐車場(有料)

Transportation guide



KUMAMOTO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

熊本県立美術館

本館 〒860-0008 熊本市中心区二の丸2番 TEL.096-352-2111 FAX.096-326-1512



第一期

■「細川」「県美」■

コレクション展

HOSOKAWA & PREFECTURAL MUSEUM OF ART COLLECTION EXHIBITION

細川コレクション

＜特 集＞ 大観と春草

県美コレクション

＜特 集＞ 新収蔵品

2013.4.2.Tue — 6.16.Sun

※作品保護のため、会期中に一部作品の展示替えを行います。[前期]4月2日(火)～5月12日(日) [後期]5月14日(火)～6月16日(日)

熊本県立美術館本館

〒860-0008 熊本市中心区二の丸2番 Tel.096-352-2111 Fax.096-326-1512

■細川コレクション常設展示室(別棟展示室+二階展示室第1室) ■県立美術館コレクション展示室(二階展示室第2・3室)

開館時間/9時30分～17時15分(入館は16時45分まで)

休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日休館)ただし、4月30日(火)は臨時開館

5月7日(火)は「障がいのある方々の鑑賞デー」として開館

主催/熊本県立美術館・熊本日日新聞社・KKK熊本放送 協力/熊本ルネサンス県民運動本部 肥後銀行 特別協力/公益財団法人 永青文庫

観覧料金

■共通券/一般400円(300円) 大学生200円(180円)
■別棟展示室のみ/一般200円(150円) 大学生120円(100円)
■本館二階展示室のみ/一般260円(190円) 大学生160円(120円)

高校生以下無料・障がい者手帳をお持ちの方無料

※()内は20名以上の団体料金 ※前売券なし



細川コレクション

公益財団法人永青文庫の所蔵品を通じて、熊本の歴史や美術、そして細川家の大名文化を総合的に紹介する「細川コレクション展」。第一期では、国替えによって細川家が熊本へ入部した時の当主・細川忠利ゆかりの甲冑や歴史資料、国指定重要文化財《鵜図》や熊本県指定重要文化財《独行道》をはじめとする宮本武蔵の書画、修復事業によって蘇った桃山時代の名画《西王母・琴高仙人図》などを展示します。

常設展示：別棟展示室

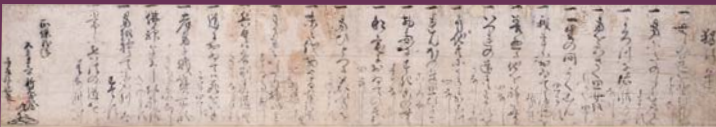
※別棟のみの観覧料金もございます。



矢野吉重筆《細川忠利像》
寛永20年(1643)
永青文庫所蔵 熊本県立美術館保管
※展示期間：5月14日(火)～6月16日(日)



内尾榮一・杉谷行直《陽春庭中之図》江戸時代末期(19世紀) 永青文庫所蔵



宮本武蔵《独行道》正保2年(1645) 鈴木猛氏寄贈・熊本県立美術館所蔵
※展示期間：4月2日(火)～5月12日(日)



細川忠利所用《銀札啄木糸射向紅威丸胴具足》
江戸時代前期(17世紀)
永青文庫所蔵 熊本県立美術館寄託

<特集>

大観と春草

本館二階展示室

今年、東京美術学校の実質的な初代学長(形式上は第2代)であり、日本美術院を創設し、日本画近代化に大きな足跡を残した岡倉天心の生誕150年にあたる年です。この特集では、天心の教え子の双壁とされる大観と春草の傑作を、彼らの理解者でありその作品蒐集家であった細川護立の近代日本画コレクションから展示します。大観作品としては、永青文庫常設展示振興基金によって修復された《山路》をはじめ《焚火》《雲去来》《山窓無月》《老子》《野の花》、春草作品としては近代日本画の金字塔とされる二つの重要文化財《落葉》《黒き猫》と《六歌仙》を展示します。特に《落葉》(4/2～21)《黒き猫》(4/23～5/12)は、今年はこの期間だけの公開となりますので、お見逃しなく。



近代日本画の最高傑作 国指定重要文化財 菱田春草《落葉》明治42年(1909)
永青文庫所蔵 熊本県立美術館寄託 ※展示期間：4月2日(火)～4月21日(日)



琳派研究のひとつの到達点 小林古徑(鶴と七面鳥)昭和13年(1928)
永青文庫所蔵 熊本県立美術館寄託 ※展示期間：4月23日(火)～5月12日(日)



修復成った大観の意欲作 横山大観《山路》明治44年(1911)
永青文庫所蔵 熊本県立美術館寄託 ※展示期間：4月2日(火)～4月21日(日)



師・天心をモデルに 横山大観《山窓無月》(部分)大正8年(1919)
永青文庫所蔵 熊本県立美術館寄託 ※展示期間：5月14日(火)～6月16日(日)

■「細川」「県美」■

コレクション展

HOSOKAWA & PREFECTURAL MUSEUM OF ART COLLECTION EXHIBITION

Collection

県美コレクション

熊本県立美術館が所蔵する美術工芸品を通して、熊本の美術と歴史を紹介する「県美コレクション展」。第一期では、池辺寺(現熊本市西区)の成立を描いた《池辺寺縁起絵巻》や池辺寺文書といった中世史料、葛飾北斎とその弟子たちの肉筆浮世絵、肥後鐔や刀剣、八代焼・小代焼・網田焼などの陶磁器、増村益城の漆工芸など熊本ゆかりの工芸品を展示。また、エコール・ド・パリとフランス近代絵画のコーナーも設けております。

常設展示：本館二階展示室



葛飾北斎《鐘撞図》江戸時代後期(19世紀)
熊本県立美術館所蔵(今西コレクション)
※展示期間：4月2日(火)～5月12日(日)



増村益城《乾漆食籠・分銅》昭和44年(1969)
熊本県立美術館所蔵



ブーグロー《キューピッド》1860年頃
熊本県立美術館所蔵

<特集>

新収蔵品

本館二階展示室

今回の特集展示は、「新収蔵品」と題して、平成24年度に当館が新たに購入あるいは寄贈を受けた美術作品や史料を展示します。浜田知明という世界的な版画家を生んだ本県の美術館としては、近代日本版画の収集は重要です。新収蔵品である恩地孝四郎《幼女浴後》は、昭和2年(1927)に開催された「第8回帝国美術展覧会」において、「美術作品」として初めて受理された版画作品のひとつであり、日本近代版画の歴史をたどる上で極めて貴重な作品です。また、北川民次《地にうごめく》は、浜田知明や坂本善三が育った「戦後美術」という土壌を映す傑作といえるでしょう。他にも洋画では、エコール・ド・パリの時代に活躍した藤田嗣治の新収蔵品や、寄贈を受けた牛島憲之や大塚耕二の小品なども展示します。



初めて「美術」と認められた版画
恩地孝四郎《幼女浴後》昭和2年(1927)
熊本県立美術館所蔵



戦後民衆の姿を描いた渾身の作
北川民次《地にうごめく》昭和22年(1947)
熊本県立美術館所蔵



パリで活躍したフジタの静物画の傑作！
藤田嗣治《レオナルド・ダ・ヴィンチ・フジタ》(裁縫道具のある静物)1930年
熊本県立美術館所蔵
©ADAGP,Paris & JASPAR,Tokyo,2013 E0388

「永青文庫」 とは？

永青文庫は、江戸時代に肥後熊本の地を治めていた細川家に伝わる美術工芸品や歴史資料等を保存・研究するために設立された公益財団法人です。細川家の“始祖”とされる細川頼有が眠る京都建仁寺の「永源庵」の「永」と、近世細川家の“初代”とされる細川藤孝(幽斎)の旧領・京都西岡の「青龍寺城(勝龍寺城)」から「青」の一字をとり、第16代細川護立氏によって命名・設立されました。当館では、東京の公益財団法人永青文庫が所蔵する様々な美術工芸品や近世屏風、そして近代日本画などを展示できるよう「細川コレクション常設展示室」を設立し、およそ3ヶ月ごとに展示替えを行いながら、永青文庫の名品を常時展示しております。



浜田知明版画室

浜田知明版画室では、熊本市在住の版画家・彫刻家である浜田知明の作品を入れ替えながら常設展示しています。今年度は4期に分けて、毎回銅版画約10点、彫刻1点を展示します。第一期は、昭和47年(1972)制作の土方定一の童話集『カレバラス国に名高きかの物語』の挿絵作品から、子どもたちにもよく知られる昭和49年(1974)の《アレレ・・・》や《教授会》までを展示します。彫刻では《アレレ・・・》を立体にした平成元年(1989)の作品を展示します。

浜田知明《アレレ・・・》昭和49年(1974) 熊本県立美術館所蔵

